

芦別岳（1.726m）

ルート 尾根新道コース
日程 平成26年5月31日(土)～6月1日(日)
参加者 CL山岸、SL小山内・西田（芳）、総括 近藤
永宮、酒井、及川、西田（昌）、鈴木、本野、笹山、谷

5/31 幌別駅集合 快晴 気温17度と高い。永宮さん現地集合、11名で出発（11：00）
途中、高速道コンビニ横で早い昼食。一路 富良野へ 6月で高速割引が終了するので、占冠IC迂行く。

山部自然公園、太陽の里到着（14：15） 無料なのに いつも綺麗に整備されています。
炊事場とトイレの位置でここだ！！スクリーンと2張り、女性のテントは自分達で設営（15：10）
食事の支度中、男達は26度の暑さの中 山を眺めながら、チビ、チビと始めました。トン汁とソーメン入りの鍋、サラダのメニュー。テントも快適で予定の時間を少々オーバーしてお開き。
1名キツネ対策かスクリーンテント泊。夜中 このテントが風で傾き 立て直したそうです。私は夢の中でした。

6/1 予定より1時間早く起床（4：00） 食事後 テントはそのままとし、歩いて5分程で登山口へ、鹿対策のゲートを開けて出発（5：30）

樹林に遮られて展望がまったく効かない、ほどほどの急な登りの中 呻吟坂の看板有り、ここで休憩（7：05）785m。見晴台850m。富良野盆地を挟んで十勝連峰、大雪の山を望み、やっと一息。
急坂を上がり尾根に取りつくと、傾斜も緩み 鶯谷に着く（8：30）ここからは 尾根も狭くなり、何度か 残雪を歩く。登山道わきに ヤシオつつじ、ヒメイチゲ、ツバメオモトなどが楽しませてくれる。

反面山着（9：15）小さなピークで広く平坦、休憩には良い所。ここからは、芦別岳に続く岩稜や岩峰が並び 本谷や数条の沢には雪渓が白く光っていた。あまり 疲労も感じなかったのは、空は晴れ 移り行く景観のためだろうか。

雲峰山は 一旦コルに下り、登り返すが ここは大雪渓が150m以上は続く。ここの歩きは ストックが 有効に活躍しました。

雲峰山1570m山頂着（10：20） 芦別岳が眼前に迫って登高欲をそそる。しばらく稜線を行くと最後の急登です。二度の雪渓登りを先行者のステップ跡を 滑落に注意しながら慎重に登る。（P場で20分前にスキーをザックに付け出発した人の滑走シュプールを横目に）

芦別岳山頂（11：15） 眺めは、快晴に恵まれ、風も無く最高！！大雪・十勝山系から、遠く日高山脈、羊蹄山を大観でき、食事をしながら退屈せず景観を楽しむ。

山頂下部西斜面でツクモ草を初めて見る事が出来、感激。

（本谷ルートからの登山者も 単独も含め7～8名いたか）

下山開始（12：00） 男性を間に挟み、声をかけながら 登りより慎重にステップ跡を確認しながら

ら下る。雲峰山着（12：35）

大雪渓を皆さん 尻滑りで100m以上を下る。敷物の用意3名、他の皆さんズボン濡らしても楽しい
笑い声、そのうち かわくべさ！

反面山着(13：15) 鶯谷着（13：50） 登山口着（15：35）

セミの声に送られて全員無事に下山（登り5：15分 下り3：35分）

テント撤収（16：00） キャンプ場出発（16：10）

湯の沢温泉で入浴、ここは何度か利用しましたが 新しく立て替えて 名称「森の四季」。入浴料430
円、BGMにJAZZが流れる、素敵な温泉に生まれ替わっていました。

高速道「樽前」で解散。一路帰途に着く。

記録 酒井

